

オリンピック・パラリンピック 準備局

オリンピック・パラリンピック準備局における自律改革の取組<状況報告>

取組体制

オリンピック・パラリンピック準備局
自律改革PT
(局長、次長、理事、各部ライン部長)

局全体の自律改革の進行管理、情報共有

各部

自律改革推進担当

部内の取組の進行管理、調整

すべての職員が参画し
取組を検討・実施

取組経過

平成28年9月5日～ 各部における検討

- ・自主点検の実施、取組の事項出し
- ・全職員を対象としたヒアリング

<平成28年9月12日 第1回局自律改革PT>

- ・局自律改革PTの設置

<平成28年9月14日 第2回局自律改革PT>

- ・自主点検の結果及び取組の検討内容を報告
- ・局の自律改革の取組を決定

<平成28年11月25日 第3回局自律改革PT>

- ・取組の進捗状況を報告

<平成29年2月27日 第4回局自律改革PT>

- ・自律改革トライアル月間の実施を決定

<平成29年3月13日 第5回局自律改革PT>

- ・トライアル月間の中間報告

<平成29年3月31日 第6回局自律改革PT>

- ・トライアル月間の取組報告
- ・平成28年度の自律改革の取組を総括

自律改革トライアル月間

オリンピック・パラリンピック準備局における自律改革の取組<状況報告>

当局の特徴

新たな取組

- ★ 56年ぶりのオリンピック・パラリンピック
- ★ 日本で初のラグビーワールドカップ

都民の高い関心

準備状況の問合せ

- ・「ボランティアをやりたい」「イベントに参加したい」

報道内容の問合せ

- ・大会に関する日々の報道を受けて都民から問い合わせ「記事の内容は本当なの？」

拡大する業務

組織の拡大

- ・H26 オリンピック・パラリンピック準備局発足
- ・毎年新たな部を設置し、拡大を続ける組織

職員の増加

- ・発足時 310人 ⇒ 732人

取組の方向性

積極的な情報公開

ホームページの充実

- ・都民ニーズに応じたコンテンツ
- ・リアルな情報公開

効果的な広報展開

都民やメディアへの情報発信

- ・タイムリーで丁寧なメディアへの説明
- ・民間を巻き込んだ取組や若手職員によるSNS活用

効率的な業務執行

全職員の参画による業務改善

- ・若手職員のアイデアを積極的に採用して改善を加速

オリンピック・パラリンピック準備局における自律改革の取組<状況報告>

積極的な情報公開(ホームページの充実)

状況・課題

- 都民からの問い合わせが多い
- 問い合わせに対して、局ホームページは十分対応できるものとはなっていない

都民のニーズ

- ボランティアなど**大会への参加方法**が知りたい
- 都が整備する**施設の状況**が知りたい
- 大会準備にどれくらいの**費用**がかかるのか知りたい
- **バリアフリー**にどう取り組むのか知りたい
- **イベント**の開催情報が知りたい
- **報道された内容**について詳しく知りたい



結果だけではなく、
検討過程の情報へのニーズが高い

取組内容

検討過程も含め、広く情報を公開

<局ホームページ>

✓各種会議の資料

- 四者協議
- 関係自治体等連絡協議会

✓議会の関係資料

- オリパラ特別委員会

✓競技会場の整備状況

- 海の森水上競技場の検討状況

✓大会準備に関する経費

- 大会準備に係る経費内訳と年度別推移

✓IOC・組織委員会関係資料

- 組織委員会の経費、収入
- 開催都市契約(近々公開)

<オープンデータカタログサイト>

✓競技会場の図面データ

取組の効果

- 問い合わせに対して丁寧な対応が可能となり、都民の納得を得られやすくなった

オリンピック・パラリンピック準備局における自律改革の取組<状況報告>

効果的な広報(メディアへの情報発信)

状況・課題

- ・メディアが必要とする情報を適時適切に発信できていない
- ・局の事業について十分にメディアに伝わっていない



情報をタイミングよく丁寧にメディアに伝えることで、都民へ効果的に情報発信ができる

メディアツアー

- ・都庁記者クラブを対象として、都が整備する新規3施設(※)の予定地を巡るバスツアーを開催
- ・現地にて、施設の概要、工事の状況、後利用の方向性を説明

【参加実績】 都庁記者クラブ 17社23名

(※)有明アリーナ、オリンピックアクアティクスセンター、海の森水上競技場

記者レク

都庁記者クラブへのレクを定期的に行う

【実施内容】

- ・リオ2016大会情報
- ・経済波及効果
- ・関係自治体等連絡協議会
- ・新規恒久施設の施設運営計画



(メディアツアーの様子)



取組の効果

(記者の方からいただいた感想)

- ・現場を見ることで初めてわかることがあった
- ・詳しい説明と質疑により理解が深まった

オリンピック・パラリンピック準備局における自律改革の取組<状況報告>

効果的な広報(都民への情報発信)

『TEAM BEYOND』

パラスポーツを盛り上げるためのファンサイト

状況・課題

- 潜在的なニーズに届いていなかった
- 登録方法が複雑だった



取組内容

- 個人登録に加え、団体登録を開始
- 企業等をターゲットとして職員が営業活動を実施
- 各種イベントやメディアと連携したPRを展開

【登録者数】※H29.3.31現在
個人 11,102人
団体 517,731人(112団体)
計 528,833人



取組の効果

- パラスポーツを応援する企業をはじめ、民間を巻き込み連携していく系口が生まれた
- 登録団体の中から、個人としてもパラスポーツを応援してくれる人が増加

『スポーツTokyoインフォメーション』

都のスポーツ情報を発信するポータルサイト・SNS

状況・課題

告知などの情報提供のみで話題性がなく、スポーツの魅力が十分に発信されていない

取組内容

若手職員が広報マンとなり、自らのアイディアで発信内容を企画し、Twitterで情報発信を行う
<広報マンのある1日>

AM 職場にて



【ゆりーとからクイズ!】

今日はホワイトデーですが、ラグビーにとってメモリアルな日でもあります。何の日でしょう…?

2019年9月20日にラグビーワールドカップ2019の開会式・開幕戦まで、今日であと920日!

【職員の開脚挑戦】

毎日約5分のストレッチを欠かさず、11日目。継続は力なり!

昼休みに



PM 出張にて



【大会の実況中継】

女子のレース中です! 速すぎる!

【大会報告】

大会が終了いたしました! 観戦にお越しいただいたみなさん、ありがとうございました!

取組の効果

若手の感性で魅力的な発信内容に変化

オリンピック・パラリンピック準備局における自律改革の取組<状況報告>

効率的な業務執行(若手職員のアイデアを具体化)

状況・課題

- ・組織の拡大により、継続的かつ組織一丸となった業務改善が図りづらい
- ・業務の拡大により、職員がライフ・ワーク・バランスに取り組みづらい

若手から始めるアイデア発掘

若手職員による発掘作業

- ・全ての部から若手職員が参加し、発掘チームを結成
- ・活発な議論で自律改革の種となるアイデアを発掘

【実績】

第1チーム	10名
第2チーム	9名
第3チーム	9名
<hr/>	
	計28名

63個のアイデアを発掘!

会議資料のペーパーレス化 プレミアムフライデー・マイ定時退庁日の設定
ポータルサイトの充実・活用 会議回数・出席者の削減
コールセンターの設置 他部署職員との交流 などなど

幹部職員との意見交換

- ・局長をはじめとした幹部職員と若手職員がアイデアを基に意見交換を実施
- ・幹部職員の持つ知識や経験で種に水やりし、アイデアを芽吹かせる

【実績】

意見交換	全5回実施
若手職員	計37名参加



(発掘チームの様子)



(幹部職員との意見交換の様子)

オリンピック・パラリンピック準備局における自律改革の取組<状況報告>

効率的な業務執行(若手職員のアイデアを具体化)

局をあげてのペーパーレス化

- ・局長室から実施することで、各部へもペーパーレス化を波及
- ・全ての部にプロジェクターを設置拡大
- ・各部対抗でペーパーレス実施率を競う『ペーパーレース!』を開催
- ・局一丸となって、ペーパーレス化を推進



(ペーパーレスブリーフィングの様子)

取組の効果

- ・局議会对策会議は**100%**達成! ※一年間換算で約43万枚の削減効果
- ・その他のブリーフィングは**50%以上**実施!

『見える化』によるライフ・ワーク・バランスの推進

かえるタグ運動

- ・職員が『かえるタグ』を掲示し、休みの予定を『見える化』
- ・休みやすい、帰りやすい職場環境をつくりだす



(かえるタグ)

- ✓オンとオフを切りかえる!
- ✓早くかえる!
- ✓働き方をかえる!

プレミアムフライデーを活用した休暇取得促進

- ・月末だけではなく、毎週金曜日をプレミアムフライデーとして設定
- ・業務の都合に応じて、職員の自由な選択を可能とし、取得を促進

取組の効果

- 取得率 **56.5%** ※総務部のトライアル
- ・組織的に推奨したことで帰りやすい雰囲気醸成
 - ・『見える化』で周囲の職員の理解促進



(「かえるタグ」を自席に掲示)